

5.7 おわりに

国営能代二期地区の素波里ダム取水塔耐震補強工事における施工計画は、保安林は解除しない、施工期間は非出水期間に限定する、施工期間以外の期間は発電停止しない等の前提条件のもとで計画されているため、耐震対策を目的とした事業において、 円規模に達し得る計画となっている。この点について、「事業として妥当かどうか、根本的に検討する必要がある。」という助言を頂いた。今後は、共同事業者・地元・林野庁（保安林解除に関する協議）等と調整を進め、前提条件の緩和を図り、より妥当性の高い計画の立案が求められる。

国営十三湖地区の芦野頭首工管理マニュアル作成においては、事業目的と、操作管理を行う改良区からの要望との間に齟齬が生じていることが問題である。当初の事業目的を達成にするために、オーバーフロー制御によって、頭首工が安定して操作されることが望まれる。また、今後の対応や、次のストックマネジメント事業等に活かすために、点検・補修・調整の履歴を記録に残すことが重要である。

近年、国営土地改良事業においては、耐震補強を含め、既存施設の改修・更新が事業の大部分を占めている。こうした中で、施工・仮設に空間的制約を伴う工事が多数存在すると考えられる。課題解決にあたっては、類似する条件下での施工経験や計画策定の知見を有する技術者から設計の早い段階で助言・提案を受け、それを施工・仮設計画や管理マニュアル等のガイドラインに反映することが非常に有効である。このような背景から、今後も国営事業実施地区におけるホームドクター業務の活用が期待される場所である。